

内山薫

祈り

深く傷の疼く日は
痛みを赤い蠟燭にして
この祭壇に捧げましょう
身をよじる炎が
孤独な魂たちのいるあの天に届くように

火守

炎と生きることはかなわぬ今生でありました
ただこの埋火だけは
灰の中に大切に守り続けてきたのです
絶やさぬように絶やさぬように
そしてこれからも決して絶えることがないように